

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さくだらキッズらぼ小諸教室				公表日	2025年 3月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		室内では、空間分けをして過ごせるように配慮しています。 また、戸外では、公共施設も活用しながら活動しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		配置基準に基づいて職員を配置しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	階段は、子どもたちの安全を考え必要に応じ補助して対応しています。 個々の児童に伝わる様に見える（視覚支援）など、伝え方を工夫しています。	建物の構造上、完全なバリアフリーは厳しい現状です。必要な時はスタッフが付き添い安全に上り下りできるよう、子ども達の安全を第一に考え対応しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日チェックリストに沿って清掃しています。室内の環境は、1階は静かに過ごす場所、2階はのびのびと遊べる場所、個室はクールダウンできるような場所など活動に合わせた空間を提供しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別の部屋で過ごすことで気持ちの切り替えができます。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		職員ミーティングにおいて現状把握、課題の抽出、業務の見直しを常時図っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表以外にも保護者会などで声を聞かせて頂く機会を設け、支援や業務の改善に活かしていただいています。	いただいたご意見を参考に、全職員で改善できるように努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員ミーティングにおいて現状把握、課題の抽出、業務の見直しを常時図っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	第三者による外部評価は行われておりません。	今後検討してきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に研修を受け、職員間で周知しています。	定期的に研修の機会を設け、その都度職員間で共有しています。職員個々の専門性の研鑽を奨励しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			今月公表予定です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		利用に際しての見学やアセスメント時に保護者面談を行い、ニーズを把握しています。更新時には保護者様のご意向、ご利用者様の想いを組み込みながら計画を作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援に入っているスタッフから聞き取り相談をしながら作成しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		放課後等デイサービス計画を職員全員で共有し、計画に沿った支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		日々のミーティングで話し合い活動内容を考えています。	提供すべき支援内容に沿い、さらに内容の充実を図ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		ミーティング時に児童の今の様子などからねらいを決めるなど話し合って決めています。固定化しない様に工夫しているが限度があり、新たな支援内容を考えていきたいです。	日々振り返りをした上で、職員間で意見を出し合い、プログラム内容を今後も決めていきます。児童の姿を尊重しながら、主体的に動けるようにプログラムを組み立てていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別課題と集団活動を時間で区切って活動をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		タイムスケジュールを組み、ミーティングで支援の内容や役割分担の確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		その日の支援の終了後や翌日のミーティングで振り返りを行っています。土曜日や長期休暇には打ち合わせの時間が短くなるので、日頃からの職員のコミュニケーションを大切にしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		詳細に記録できており、またミーティング時などで口頭でも情報交換をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングをしています。ご利用者様の成長や新たな課題について職員間で検討し、内容の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		ガイドラインを組み合わせ支援を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		自分でスケジュールを選び過ごし方を決めています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が行っています。相談支援事業所とも密に連携をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて情報共有しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		年間行事表や下校表をいただいています。送迎時学校の先生と情報共有をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		利用前の支援会議において、相談支援員さんや保護者様を通して情報を共有して頂いています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	現在は対象児がいません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		児童発達支援センターと連携していますが、助言などを受ける機会はないので、今後より良い支援が提供できるよう必要に応じて機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	放課後等デイサービスを利用している事を知られたくない児童もおり難しいです。	今後、ニーズに応じて検討していきます。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		児童発達支援管理責任者が参加しています。		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や送迎時にやり取りをし、情報共有をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		さくらぼ（ファミリー）カフェを通して、保護者の方にも学べる機会を設けています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		見学時や契約時にお伝えをしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		定期的に保護者の方や子ども達と面談する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		都度丁寧に説明をし、同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者様から相談があった場合には、職員間で話し合い速やかに対応をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		保護者様同士の交流の場やご家族を含めた会を開催しています。来年度も継続して実施していきます。（さくらぼカフェ、ファミリーカフェ）	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情や要望があれば、迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		お便りやHUGシステム、ブログを活用しています。今後内容も充実させていきます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		取り扱いには十分注意をしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		特性を職員が理解し配慮できるように努めています。必要に応じて筆談などで意思の疎通を行うことがあります。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	地域の方を招待する行事は実施できておりませんが、地域のイベントには積極的に出向いています。また、地域の事業所と交流する活動は行っています。今後もそのような機会を設け、地域との繋がりも深めていきたいと思えます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		職員間には共有しています。保護者の方へも周知できるようにしていきます。	保護者の方へは事業所内で随時閲覧可能な状態になっています。訓練を行った際に保護者の方への周知不足を感じるため、お便りを増やし把握して頂けるように努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に訓練を実施しています。今後は回数も増やし、内容も充実させていく予定です。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に確認をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	アセスメントの際、保護者様に詳しく聞き取りをしています。現在、対象の児童はおりません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画の確認が出来ていないので確認しておきたいです。	職員間で周知不足がありましたので、再度確認を行いました。遊具点検や室内の安全点検についてもさらに強化して安全管理に努めていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			安全計画に基づく取り組み内容について、全ご家庭に周知把握していただけるよう、SNSやお便りを活用していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットが発生した場合は、すぐに対応し分析を行うようにしています。職員間で共有しています。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会の開催、また定期的に虐待防止研修に参加し職員間で共有しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		説明し必要に応じて個別支援計画に記載をさせて頂いています。	